

五條市五條新町(奈良県)

(1) 保存地区の概要

地区名	五條市五條新町
種別	商家町
面積	約7.0ヘクタール
選定年月日	平成22年12月24日
特徴	<p>五條市五條新町伝統的建造物群保存地区は、吉野川(紀ノ川)の支流の西川東岸に広がる五條と、吉野川北岸を並行に通る旧紀州街道(伊勢街道)沿いに広がる新町の二つの異なる町並みから成立する。中世に起源が遡る五條の町並みは、間口と奥行の異なる不規則な町割が施され、大規模な町家が面的に広がる。一方、近世初頭に二見城の城下町として成立した新町は、間口と奥行の揃った敷地割を持つ町家が直線的に築かれている。</p> <p>江戸時代初めまでに成立した町割りを良く残し、江戸時代の重厚な町家が多く建ち並ぶ密度の高い町並みを形成し、南大和地域に栄えた商家町としての歴史的風致を今日によく伝えている。</p>

(2) 保存地区のあゆみ

昭和50年度(1975)	伝統的建造物群保存地区保存対策調査
平成5年度(1993)	「かげろう座(フリーマーケット)」が新町塾によりスタート
平成10年度(1998)	五條市新町地区街なみ環境整備事業(～19年度)
平成12年度(2000)	「地域づくり自治大臣賞」受賞(新町塾)
平成16年度(2004)	五條市新町町並み調査
平成22年度(2010)	『重要伝統的建造物群保存地区』選定 不均一課税条例制定
平成23年度(2011)	建築基準法の制限の緩和に関する条例制定 文化財保存基金条例制定
平成25年度(2013)	防災計画策定
平成26年度(2014)	「手作り郷土賞」受賞(NPO法人大和社中)



五條の町並み



新町の町並み



吉野川沿いに残る石垣

五條市五條新町(奈良県)

(3) 保存地区の保存と整備

● 主な事業

・街なみ環境整備事業

平成10年度 建物修景57件
 ～ 生活環境施設2件
 平成19年度 ふるさと事業1件
 公園整備2件
 防火水槽1件
 案内板設置3件
 電柱カラー化33件
 道路・通路の美化化
 下排水工事



まちなみ伝承館(生活環境施設)



案内板(防災事業)

・保存整備事業

平成23年度	修理事業4件 土地買上事業1件 公開活用事業1件
平成24年度	修理事業6件・修景事業2件 防災事業1件(案内板3基) 公開活用事業1件
平成25年度	修理事業5件 対策調査1件(防災計画策定)
平成26年度	修理事業4件・修景事業1件
平成27年度	修理事業4件 防災事業1件(街かど消火器整備)
平成28年度	修理事業4件 防災事業1件(消火栓機材整備)
平成29年度	修理事業4件
平成30年度	修理事業4件
令和元年度	修理事業6件
令和2年度	修理事業7件・修景事業1件
令和3年度	修理事業9件・修景事業1件



街かど消火器(防災事業)



消火栓機材格納箱
(防災事業)

・修理事業の例



修理前



修理後



修理前



修理後

五條市五條新町(奈良県)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

● 伝統的建造物の空き家の活用とまちづくり

NPO法人大和社中(まちづくり団体)を窓口として、現在、空き家となった町家の再生、活用が進められている。

事例としては、和風レストラン、フレンチレストラン、宿泊・研修施設、サテライトオフィス、ジオラマ模型の店舗、芸術家のアトリエなどがある。



和風レストラン



フレンチレストラン



サテライトオフィス



宿泊・研修施設

五條市では、「起業家支援施設」と「滞在体験型観光施設」として、2軒の空き家を整備している。

・起業家支援施設



五條新町地区の典型的な町家(江戸期)を、個人・グループ・法人の新たな分野への進出を支援するチャレンジショップに改修した。

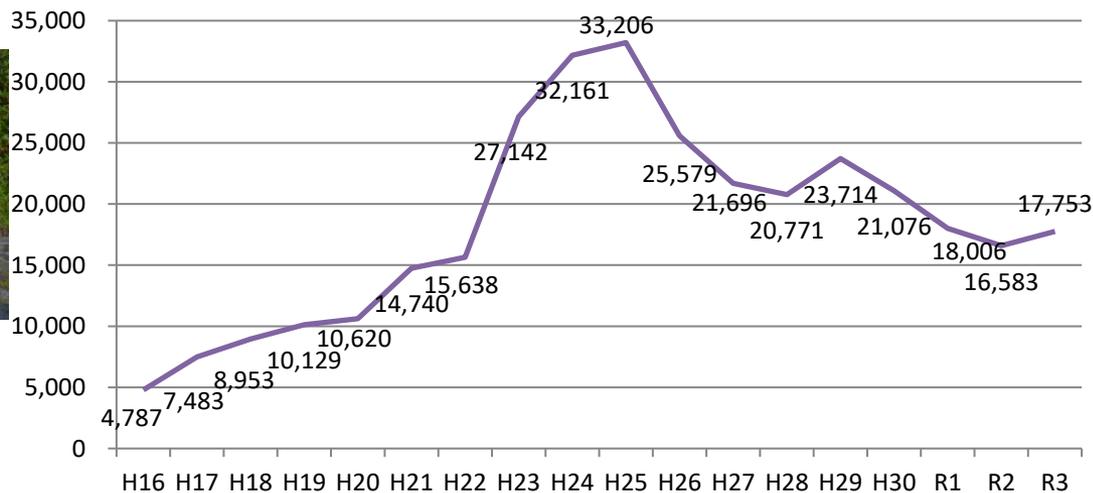
・滞在体験型観光施設



伝統的な町家(大正期)を持続可能な観光まちづくり資源として再生するため、上質な滞在空間を有する観光施設に改修した。

五條新町の町並み来街者数の推移 (五條新町地区3施設の入館者数合計)

(人)



五條市五條新町(奈良県)

(5) 住民等の取組

● かげろう座

地元住民で結成された「新町塾」により、毎年5月に町家の軒先を借りて開催していたフリーマーケット。かつての賑わいを再現し、五條市を代表するイベントであった。

この取り組みが、市民に五條新町地区を理解してもらうきっかけとなり、観光客も増加した。最終の第20回(平成24年)では、過去最高の約8万人の来場者があった。 かげろう座の賑わい



「かげろう座」来場者の推移



● NPO法人大和社中による取組

・大和風鈴街道

観光客に「涼」を感じてもらうために、7月から9月の初旬にかけて、町家の軒先に風鈴を吊るす取り組み。



・日本あかね染め復活プロジェクト

有名な人形浄瑠璃の演目「艶容女舞衣(はですがたおんなまいぎぬ)」の題材となった「赤根屋半七」は、五條新町で木綿商を営んでいたといわれる。これに因み、地元で自生していた日本あかねの株を増やし、あかね染めを復活させる取り組みを現在進めている。



● 町なみ保存会による取組

・四季の行事に合わせた展示

まちなみ伝承館において、来館者に季節を感じてもらえるように、ひな人形や五月人形、七夕飾りなどを時期に合わせて展示している。



・五條新町スタンプラリーの開催

五條新町地区にある3施設(まちなみ伝承館・まちや館・民俗資料館)に来館し、スタンプを集めると、記念品(オリジナルポストカードなど)を渡す企画を定期的に行っている。



・桜華会(おうかえ)

まちなみ伝承館にある、しだれ桜が見頃を迎える時期(3月下旬頃)に、無料でお茶を振舞っている。

